

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年11月18日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	弟子屈町	代表者名	徳永 哲雄
担当者部署	総務課	連絡先電話番号	015-482-2191
担当者役職		担当者氏名	
住所	088-3292 北海道弟子屈町中央2丁目3番1号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	丸田 之人
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	室蘭市で行ったオープンデータの取り組み内容がわかりやすく、実例を交えた内容だったため今後の対策を検討するには対応しやすかった。
アドバイザーへの要望事項	特にありません

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月13日	10時00分	16時30分	60	330
3-2. 派遣場所	会場名	釧路圏摩周観光文化センター 2階視聴覚室		最寄駅	摩周駅
	所在地	弟子屈町摩周3丁目3-1			
	最寄駅からの交通手段	バス			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	近隣町村を含む地方公務員	13人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	2020年までに地方公共団体のオープンデータ取組率を100%にすることが目標として掲げられているが、取組を始めるにあたり、理事者への説明、内部調整、公開に係る内部事務の進め方など	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	2020年までにオープンデータを実施する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	オープンデータ、データ活用が行政や地域にとって有意義であることを理解でき、今後の取り進め方について学べた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	オープンデータを取り組むにあたり課題等が解消された。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	◎途中段階であり、具体的な成果物はできていない オープンデータを取り組むにあたり事業の進め方を学べた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 分かりやすく、大変気軽な気持ちで研修ができて、良かったです。 自治体職員(メンター)の話が、同じ視点からの内容で共感もてた。 他市町村の導入事例を聞いたことは参考となった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	◎その他
事業の最終的な目指す姿	予算はかからないと思うので事業を進めていく	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

